

— すべてのお客様に安心してコンサートをお楽しみいただるために —

# ソニックシティ主催公演での感染症対策

ソニックシティでは2020年1月の「日本フィルハーモニー交響楽団さいたま定期演奏会」以来、新型コロナウイルスの影響により主催公演の中止が続いていましたが、9月の公演から再開しました。

11月13日(金)には再開後2回目となる「さいたま定期演奏会」が開催され、多くのお客様にご来場いただきました。

今回は実際の公演の様子から、ソニックシティ主催公演における感染症対策の一部をご紹介します。



大ホール入場口前に、ソーシャルディスタンスを促すマークを設置しています。整列の際はこちらに沿ってお待ちいただきます。（同じ表示をトイレやエレベーター前など、列ができる箇所に設置しています。）



ご入場の前に、必ず手指のアルコール消毒をお願いします。ロビーにも消毒用アルコールを各所にご用意していますので、ご利用ください。



係員はすべてマスク・フェイスシールド・手袋を着用して対応させていただきます。お客様はマスクの着用をお願いいたします。



検温のため、赤外線サーモグラフィカメラを設置しています。結果によっては再度体温測定をさせていただき、37.5度以上のお客様のご入場はお断りしています。



3密を避けるため、座席番号により【入場推奨時間】を設定しておりますので、ご協力をお願いします（詳しくは裏面をご覧ください）。



大ホール最大2,505席のところ890席に絞り、お客様同士の距離を確保しています。今ならでは、前後左右に人がいない、ゆったりとした空間で音楽をお楽しみいただけます。

～他にも、このような対策をしています～

- ・入場前はもちろん、開演後もドア・手すりなど多くのお客様がお手を触れられる箇所を消毒しています。
- ・開場時ならびに終演時に、外気を取り入れるために、客席扉を開放して換気を強化しています。
- ・終演後、お帰りの混雑を避けるため、お席のブロックごとにご退場いただきます。退場順は会場アナウンス等でご案内します。

「日本フィルハーモニー交響楽団さいたま定期演奏会」は2か月に1度開催しています。感染症対策に万全を期し、すべてのお客様に安心してコンサートをお楽しみいただけるよう、努めてまいります。皆様のご来場を心よりお待ちしております。